



みな いな

みんなで

いっしょに

なかよく



高校生のボイスリレー 栃木県立那須拓陽高等学校編

第6弾

私たち高校生が描く
「男女が助け合う社会」について、
2ページに意見が
掲載されています。



ワークライフバランス特集

仕事も家庭もエンジョイしていますか？



もくじ

高校生のボイスリレー	2
男女共同参画推進事業者の表彰	3
～自分らしく輝くために～	
自分に合った仕事と生活のバランスを見直そう	3
男女共同参画セミナーの報告	4
男女共同参画フォーラムのお知らせ	4

拓陽生のアンケート

結果
抜粋



男女がお互いに認め合い、助け合う男女共同参画社会を実現するためには、次代を担う若い世代が関心を持ちその考え方を理解することが大切です。

今回は、農業経営学科で作物・畜産および農業経営に関する知識と技術の習得を目指す3年生に、畜産の実習を行いながら男女共同参画についての意見をお聞きしました。

畜産実習生 19人

男子 13人 女子 6人

Q1 今の学科を選んだ理由

学科のあり方、食物の流通(生産・加工・販売)に魅力を感じたから。

酪農に魅力を感じたから。



Q3 最近気になる話題あるいは一番興味があることは何ですか？

友達とラインでのやり取り。

消費税8%に憤りを感じる。学校のパンが高くなったので…。

Q2 将来の夢

30歳位までに結婚して子どもは2人欲しい。

動物関係の仕事に就きたい。



Q4 今、ネット(facebook・出会い系サイト)上での恋愛や交際が問題になっていますが、あなたはどのような交際についてどのように思いますか？

ネットで知り合って交際につながることはない。

危険が多い。

Q6 家庭生活上で、どんなお手伝いをしていますか？

お父さんとお母さんが仲良しで二人で分担しているから、自分がお手伝いすることはありません。

家業も酪農だが、自分は機械を扱うのが好きなので、それを手伝うことはある。

Q5 学校生活で、どんな時に助け合っていますか？

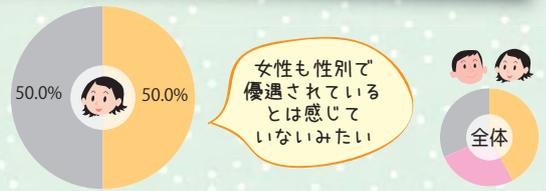
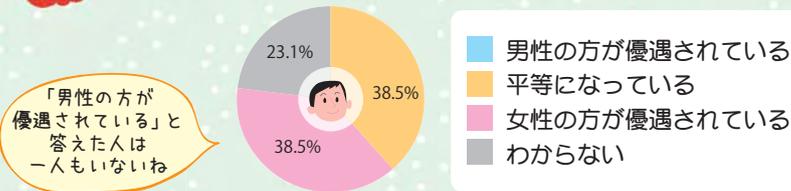
実習等でお互いをカバーしながら作業している。

やはり重い物は女子には可哀想なので、持ってあげている。中には頼もしい女子もいるけど…^o^;

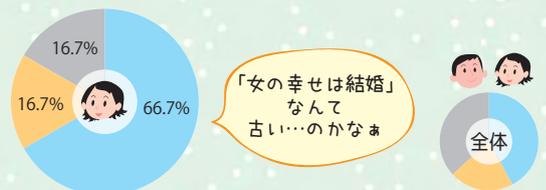
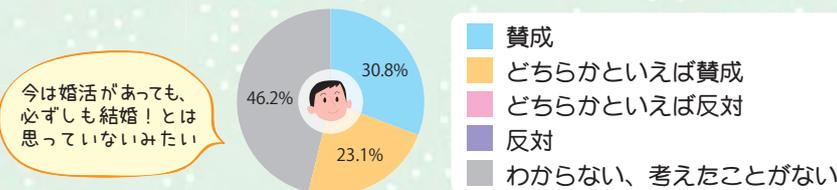


農業経営学科の皆さんにアンケートを行いました
回答者数 男子 13人 女子 6人

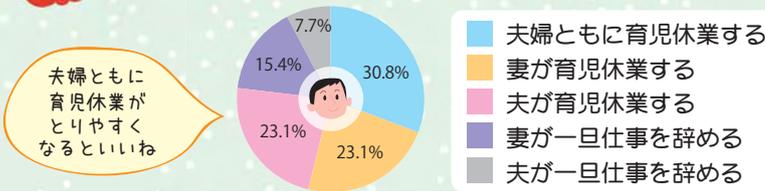
Q1 学校生活における男女平等について



Q2 結婚について「個人の自由であるから、結婚しなくてもどちらでもいい」という考え方を、あなたはどう思いますか？



Q3 将来子どもを持ったとき、育児と仕事をどのように行っていきたいと思いますか？



男女共同参画推進事業者表彰



本市では、男女共同参画社会の実現を目指すため、今年度より男女共同参画推進に積極的に取り組んでいる事業者を表彰します。次のとおり募集しますので、ぜひご応募ください。

対象となる事業者 市内に事務所または事業所を有する事業者（国、地方公共団体等は除く）。

表彰基準 以下の取り組みを積極的に行っている事業者

- 性別にとられない能力活用や女性の職域拡大のための取り組み
- 仕事と家庭生活、その他の活動との両立を支援するための取り組み
- 男女の人権に配慮し、男女がともに働きやすい職場の環境整備のための取り組み
- その他、男女がともに参画できる社会づくりに向けた取り組み

応募期間 平成26年9月16日(火)～10月16日(木)

応募方法 応募用紙と事業者の概要が分かる資料を添えて、市民協働推進課に提出してください。
※応募用紙は、市民協働推進課窓口で配布します。また市ホームページからもダウンロードできます。

仕事も家庭もエンジョイしていますか？（ワークライフバランス）



～自分らしく輝くために～ 自分に合った仕事と生活のバランスを見直そう



これらの状況に対応していくためには、1人ひとりが仕事の仕方、家事・育児・介護などへの関わり方を見直し、それぞれのライフスタイルに応じた多様な生き方を選択できることが大切。

**ずばり!! ワーク・ライフ・バランス
(仕事と生活の両立) だね**



企業と個人がそれぞれできること&取り組むメリット

企業

**男女ともに
働きやすい職場づくりへの
取り組み**

- 男女ともに育児休業、年次休暇取得の推進
- 女性管理職の模範となる人材育成
- 在宅勤務や短時間勤務など柔軟な働き方の導入
- 事務所内託児所の開設

メリット

従業員の心身の健康保持増進

生産性向上

職場が明るくなる☆

従業員が笑顔になれる☆

満足度意欲向上

優秀な人材の確保と定着

個人

**家族みんなで家事・育児・
地域活動の
役割を分担し協力し合おう!**

- 朝10分早起きして、ゴミ出し
- 早く帰宅して家族との団らんを大切にする
- 家族が家事をしているのに気づき、自分も動く
- 家族への思いやり など

メリット

家事、育児、介護等の明るい家庭生活と仕事の両立が可能

ライフバランスの確保

心にゆとりができる☆

スキルアップのための勉強時間の確保

会話が增える☆

「高校生が描く男女のきらり社会」 ～自分らしさを大切に～



書いてみるとよくわかるなあ。



若年層へ男女が助け合いともに輝くことができる男女共同参画の大切さを伝えるため、7月10日、県立黒磯高等学校の1年生235名を対象に、県男女共同参画地域推進員那須塩原市連絡会によるセミナーが開催されました。推進員がデートDVの寸劇「それって、本当にラブラブ？」を上演し、各クラスでワークショップを行い、劇の感想や理想の付き合い方、男女の違いなどを考え話し合いました。

現在、学校生活では男女平等が当たり前になり、多くの生徒が今まで気づかなかった男女の違いや差について知るきっかけとなり、お互い思いやりを持って生活する大切さを学んだ様子でした。

いろいろ考えさせられちゃうね！



考え方ひとつで変わるんだね！



それって、本当にラブラブ？

<セミナーを受けた 高校生の声>

- 男女の交際について改めて理解することができました。理想的な運命の人に出会えたら良いと思いました。絶対その人を幸せにしたい!!
- 「男性」「女性」というだけでやりたい事が出来なくなってしまう社会ではなく、誰もが平等に生活できる社会を目指した方が良いと思った。

● 意外とまだ男女での偏見や差別が残っているのだなと思った。男女の差別をなくすには、男性と女性お互いの気持ちをよく考え、それを行動に移すことが大切だと思った。悩んでいる人がいたら、声をかけて助けてあげようと思う。

● 相手のことを考えることは本当に大切だと分かり、相手の気持ちを考えた言動を心がけたいと思いました。

僕、これがいい!!



作:miina 絵:daisuke

お知らせ

男女共同参画フォーラム 2014

ひと ひと
『女と男ともに輝くまちづくり』を開催します!

日時: 12月7日(日) 開演13:30(開場 13:00)

会場: 三島ホール

内容: 開会行事 男女共同参画推進事業者表彰

講演/シャンソン&ウイメンズトーク

「こころの時代、こころの問題」～自分を愛して、他者を愛して～

講師/田嶋陽子氏(元法政大学教授、元参議院議員、女性学研究者)

入場料: 無料(整理券が必要です) 11月6日(木) 受付予定

問い合わせ: 市民協働推進課(本庁) ☎0287-62-7019

ぜひ、足を運んでください。



編集後記

「ありのままの・・・」と誰もが耳にし、口ずさんでしまう歌。歌詞には、人が人である以上、とても大切なことが込められている。『思いやり算』+助け合うー引き受ける×声をかける÷分け合う。性別に関係なく誰もが輝ける社会になるように、私たちは「みいな」を作っています。

編集委員/阿久津一志 櫻井敬子 平井あけみ 藤原磨衣子 星明美 柳場美枝子
編集/みいな編集委員会 発行/那須塩原市企画部市民協働推進課
〒325-8501 栃木県那須塩原市共墾社108番地2 TEL:0287-62-7019
Mail:kyoudousuishin@city.nasushiobara.lg.jp